



令和 5 年 3 月 6 日
令和 4 年度学校だより NO.58①
加古川市立平荘小学校

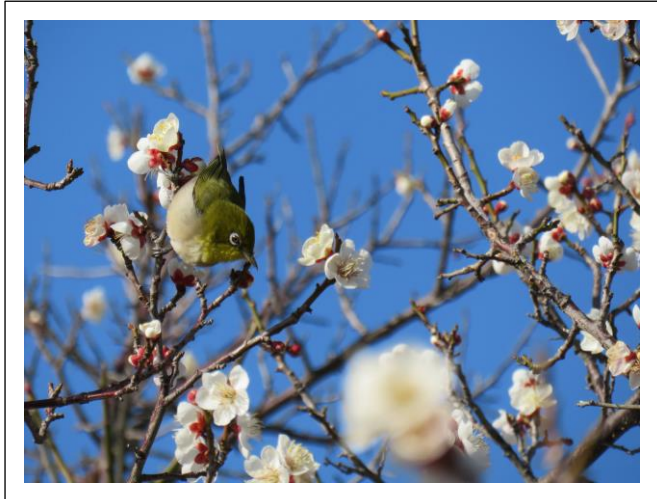
3月6日は、啓蟄です

連日の厳しい冷え込みもようやく和らいで、一雨ごとに暖かくなってくるのが『啓蟄』のころです。『啓』は「開く・開放する」、『蟄』は「虫が冬の間、土にこもる」といった意味があり、『啓蟄』は春の到来を感じて虫たちが土から出てくることを表しています。



2023年は3月6日～3月20日が啓蟄にあたります。

本校でも、前回お知らせしました『梅』が満開です。パンジーやピオラもかわいい花を咲かせています。



トルコ・シリア地震救援金にご協力をどうもありがとうございました。

2月20日(月)～2月24日(金)に、児童会が呼びかけて『トルコ・シリア地震救援金』の募金活動を行いました。皆様のご協力のおかげで、33,929円が集まりました。この募金は、皆様の温かいお気持ちと共に、日本赤十字社に入金し、現地の支援に役立てていただきます。ご協力をどうもありがとうございました。

6年生を送る会を行いました(No.1)

3月1日(水)に、6年生を送る会を行いました。1～5年生が心を込めて会を催しました。

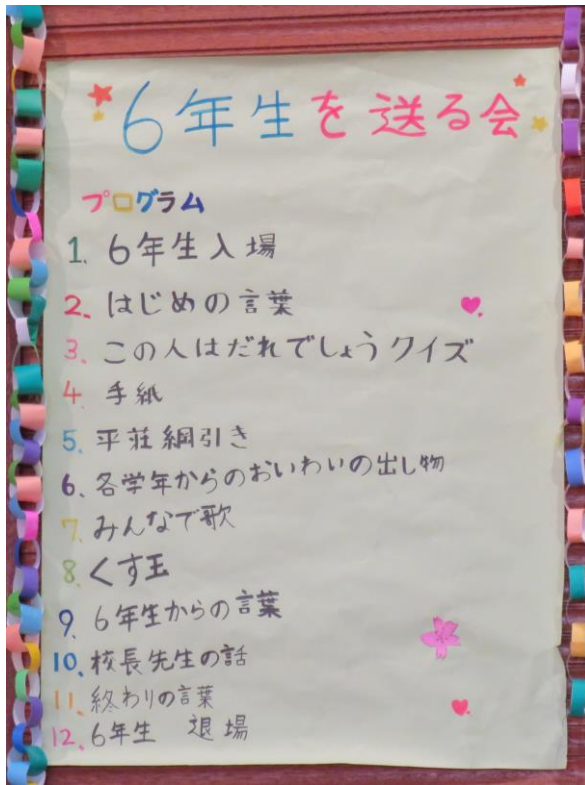
特に5年生は、1～5年生の最高学年として、2か月前から綿密な打ち合わせを重ねながら、下級生をリードしました。3月1日が6年生にとって心に残る素敵な時間になるように精一杯頑張りました。自分のためだけの楽しみではなく、人に喜んでもらえることを自分たちの喜びとして会を計画し実行したことは、5年生の子どもたちにとってかけがえのない素晴らしい経験になったことと思います。そして、この経験が、次期最高学年への準備につながっていると思います。本当に心のこもった温かい6年生を送る会に仕上げることができました。

1～5年生のみなさん、素敵な会をありがとう。

そして、主役の6年生のみなさん、1年間、平荘小学校の最高学年としてたくさん力を発揮し、たくさん支えてくれました。登校班での役割、運動会や音楽会等行事の度に学校を支えてくれました。また、平荘小学校が、児童会が主体となって平荘っ子が生き生きと学校生活を過ごせるよう、いろいろなアイデアで学校生活を充実したものにしてくれたのも6年生のおかげです。『創立130周年平荘小学校おめでとう集会』をはじめ、委員会活動を中心に、楽しい学校生活を過ごせるようたくさんの働きかけを全校生に発信してくれました。また、平荘小学校の伝統である『狂言発表会』でも、先輩から引き継いだ平荘小の狂言魂を立派に全校生や地域に発信することができました。日頃からのあいさつ運動も、日が経つごとに元気で気持ちの良いあいさつを全校生でできるようになってきています。いろいろな場面で、6年生一人一人が、望ましい姿を下級生の手本となって示してくれたのおかげです。1年間、本当にありがとう。6年生のみなさんの、仲間とともに楽しみながら、自分も周りの人も気持ちよく過ごせる学校生活を、自分たちで実践しているところが本当に素晴らしいです。

3月1日(水)の6年生を送る会では、このような6年生に感謝の気持ちを込めて、下級生が精一杯の『ありがとう』の気持ちを伝える会だったように思いました。

『6年生を送る会』・・・平荘っ子が心を込めた会にしました



《入場》
6年生一人一人のよい所やがんばっていることを紹介しながら、6年生を迎えました。
※一人一人が主役です。



《プログラム3 『この人はだれでしょうクイズ』》



6年生（1年生当時）の写真を全校生に紹介し、『この人はだれでしょうクイズ』を考えました。